



いふだより

このたよりは、尾張旭市内の小中学生の子をもつご家庭や、
教職員のみなさん、地域の方に向けて発行しています。

第4号

「子育て講演会」を行いました

8月8日（火）に、渋川福祉センターで「子育て講演会」を行いました。昨年度に引き続き、瀬尾大（せお まさる）先生をお招きしての講演会でした。今年の演題は「子どもが親に何を求めているのか？～子どもの心理的報酬を洞察し対応する方法～」でした。講演の内容はとても具体的で分かりやすく、すぐにでも役立てられそうなものでした。以下で一部を紹介します。

人間は無意識に「心理的報酬（自分の行動に対する他者からの見返り、対価）」を求める生き物であり、それをどう得るかによって満足度が変わります。また、「心理的報酬」は次の行動の動機にもつながっており、親が子どもに何をどう与えるかによって、外的動機（強制）となるか内的動機（自発性）となるかが変わります。心理的報酬をいかに内的動機づけの向上につなげていくのかがポイントとなります。



講演会の様子

<心理的報酬の6パターン>

- ①愛情：自分自身への興味・関心、大切に感が提供されていると実感
- ②サービス：優しさや気遣い、配慮、エンターテイメントが提供されていると実感
- ③情報：知識や有益な情報が提供されているという感覚
- ④地位：自分が望む社会的名声や名誉が提供されているという感覚
- ⑤物品：自分が望む物が提供されている感覚
- ⑥お金：行動や成果に対して金銭的見返りが提供されているという感覚

これらの中で、特定性（与えられる対象によって価値が大きく変わる）の高い心理的報酬は、①愛情、②サービス、③情報です。親という特別な存在から受けることで、子どもは大きな満足感を得ることができます。さらに、これらは内的動機づけの向上が期待できるものです。反対に、公共性の高い心理的報酬（⑤物品、⑥お金）は、誰から与えられても価値の違いが発生しないので、子どもの満足感に大きな違いはなく、

与えすぎると親子関係が悪化する可能性も秘めています。親子関係は、「依存と甘え」がベースに存在している特殊な関係です。だからこそ、言葉はなくても伝わっているだろうという気持ちから、「親のことは好きだけど、言うことは聞きたくない」というような相反する感情を抱えることとなるので、子どもは親の思い通りにはならないのです。そうした関係性の中で、子どものタイプに合わせて、適切な心理的報酬を最適なタイミングで与えることが大切です。『心に留めておいてほしいのは、親が満たされようと思っただけではダメだということです。子どもは一生かけて親を満たしてくれるものです。今、満たされようと思わないでください。子どもがある程度自立するまでは、心理的報酬（特に①愛情、②サービス、③情報）を与える側でいてください。』とは、瀬尾先生にいただいた言葉です。

講演会の後半は、前年度に引き続き「エゴグラム」による自己分析を行いました。53の質問に答え、それを基にグラフを作成することで、思考の傾向や物事の判断基準など、自分のタイプを客観的に知ることができます。参加した方からは、「親自身の特性を見直すことで、子育てにおいてどんな傾向が出やすいのか分かった」「自分の苦手な部分分かり、気を付けて子どもに接したい」などの感想が寄せられました。

子育て講演会に参加した方々の感想

- 親自身の特性を改めて見つめ直すことで、子育てにおいてどんな傾向が出やすいのかよくわかりました。先生自身も子育て中ということもあり、知識があるけれど、お子さんには感情的になるとおっしゃっているのを聞いて、共感が持てました。自発的に動けるように過干渉になりすぎない、親の私自身、子どもの自己肯定感を上げられるよう、心にとめておきたいと思えます。
- 子どもは親の思い通りにならないという先生の言葉がとても胸に刺さりました。頭ではわかっているもなかなか行動にできないジレンマで毎日葛藤する日々です。どうして？と悩むことも多いですが、子どもに見返りを求めてはいけないという話に、少し気持ちが楽になったような気がします。傾向特性検査では、自己分析ができ、とても楽しかったです。自分の苦手な部分分かり、これから子どもに接するときに気をつけたいと思えます。
- 子どもに対して親は愛情、サービス、情報の3つのみ心理的報酬を与える立場であることを改めて思いました。やらされている感をもたせないように、日々の生活で子どもに選択肢を与え、選択させることを心がけていこうと思えます。昨年も参加しましたが、先生の話はとても聞きやすく、傾向特性検査があつて面白かったです。

今年度も大変有意義な会となりました。参加できなかった方々も、本紙面を読んだり、参加した方から内容を聞いたりして、子どもたちへのかかわり方のヒントにしていただければ幸いです。